

都中英研だより

第 61 号

東京都中学校英語教育研究会
会 長 井 田 宗 宏
(練馬区立豊玉中学校校長)

今、都中英研の役割を考える

東京都中学校英語教育研究会
会 長 井 田 宗 宏

5月13日の都中英研定期総会で昨年度に引き続き会長を仰せつかりました井田宗宏(いだむねひろ)です。六十数年の歴史と伝統のある、この都中英研のことを考えますと、改めて身の引き締まる思いでいっぱいになります。

これまで培われてきた財産を受け継ぎ、さらに発展できればと思います。微力ではありますが、会員の皆様とともに、変革期にある中学校英語教育の中で、共に歩を進めることができると考えています。

これまで私が長年、都中英研でお世話になる中で、諸先輩方から教をいただいたことは、「まず自分の学校を、子どもたちを大切にし、なおかつ人一倍、英語教育に厚い情熱を持ち、都中英研でともにやりましょう。」という言葉でした。

折しも、次年度から中学校では、新学習指導要領が全面实施されます。中学校英語は、すべての教科の中で最も時数が多くなります。しかし週4時間だと諸手を挙げて喜んでばかりいられません。これを軌道に乗せるためには、これまで以上に英語科教員の一人一人の力量が試されることとなります。

4技能を総合的に育成する指導のあり方や文法指導と言語活動を一体的に行う指導の工夫、さらにはコミュニケーション活動についても新たな素地の育成が求められております。

昨年度開催された第34回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会では、東京独自のスタイルで五百名以上の参加者の皆様に支えられ、成功裏に終了することができました。研究テーマ「英語教育の変革期を創る」を一都八県の英語科の先生方と共に考える絶好の場面となりました。その成果を

今年度の運営につなげていきたいと考えています。

本大会の各分科会は、今後の英語教育を見据える中でいずれも重要な課題であり、多くの時間を費やし、実践・研究を繰り返して参りました。都内の若手教員



の人材育成を視野に入れ、日頃から地道に活動している教員に発表の場を提供してきました。日常の授業でのつまずきを改善するためのステップを大切に活動を展開してきました。このことが、都中英研の組織の活性化に自然とつながってきたように感じ取られます。

現在、都内には620校程度の中学校があります。英語科の教員は千七百名近くに上ります。一校一校との連携を深め、英語教育への熱い理念と具体的な方策を持って、多くの課題解決に向けて絶えず研修・研究に励む組織でありたいと考えます。

昨年度から新たに、都中英研の各種事業が、都教職員研修センターから研究推進団体の認定を受け、先生方が一層、研修に参加しやすい体系を整えました。

都中英研では、今後とも日々研鑽に励まれている先生方のために精一杯の活動を展開してまいります。情報の発信だけに終わることなく、英語科教員相互のネットワーク作りにも丁寧に対応していく所存でございます。

会員の皆様におかれましては、学校を取り巻く環境が一層厳しくなる中ではありますが、今後とも一層連携を深め、東京都の中学校英語教育の充実に向けて、共に歩んでいきたいと思っております。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

平成23年度 都中英研総会

平成23年度の都中英研総会が、5月13日(金)に、豊島区立駒込中学校にて開催されました。井田宗宏会長の挨拶、平成22年度の各部の事業報告、決算報告に続き、平成23年度の役員選出と承認がなされ、新役員が別掲のように決まりました。そして、平成23年度の事業計画案および予算案が提案され、承認されました。

総会后、桜美林大学院教授の森住衛先生による記念講演会が行われました。講演の要旨は以下の通りです。



英語教育に課せられた人間教育

桜美林大学院教授 森住 衛

英語教育には「人間教育」が必要であるが、学習指導要領には「英語教育における人間教育」という視点がない。学習指導要領に人間教育に資する言葉が含まれるべきだと考えている。人間教育を「人間形成・人格陶冶」としてとらえたい。

英語教育には、題材・言語材料・言語活動のそれぞれについて、他教科では扱えない人間教育ができる要素を含んでいる。例えば、外国の文化や生活を知る題材を扱うことで、日本との違いを認識することが人間教育の第一歩になる。また、授業での言語活動でも、Do you like English? への答え方として、「普通 (Yes でも No でもない)」という英語表現も自己の発露を見つけていくという視点から教えていきたい。

普段の英語の授業を広い視野と深い思慮で実践し、人間教育に踏み込んだ指導をしていきたい。

平成23年度 中英研年間事業計画

中英研では英語教育の振興を図ることを目標に、次のような事業を実施しています。指導技術や識見の向上を目指し、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

総務部

定期総会の運営(5月13日)
全英連中学校部会の運営補助(6月~7月)
中英研各地部長・幹事会の開催(8月26日)
関プロ山梨大会に関する事務
各部の事業への運営補助

調査部

コミュニケーションテストの作成・実施・
処理・分析・報告書作成(後述参照)

経理部

都中英研事業に係る会計事務

研究部

辞書指導についての研究
夏休みの語い指導ワークショップの開催
(7月)
公開授業および研究発表会の開催

事業部

定期総会の運営(5月13日)
サマーワークショップの開催(8月)
授業力アップ研修会の開催(10月)
英語学芸大会の開催(12月4日)

出版部

「都中英研だより」第61号の発行(7月)
「都中英研だより」第62号の発行(11月)
「都中英研会報」第70号の発行(3月)
都中英研ホームページの更新補助

プロジェクト・チーム(P.T)部

研究活動(文献研究・授業研究・授業分析)

研究会・協議会

夏季全英連中学校部会 7月28日(木) 13:30~17:00

講師：筑波大学大学院教授 卯城祐司先生
講演：「新学習指導要領の実施に向けた課題」
会場：北とびあ

各区市町村英語教育研究部部長会・幹事会 8月24日(月) 15:00~

講師：専修大学教授 田邊祐司先生
講演：「これからの中学校英語教育のあり方」
会場：渋谷区立鉢山中学校

全英連奈良大会 11月11日(金)・12日(土)

会場：第一日 奈良100年会館
第二日 帝塚山大学学園前キャンパス
テーマ：「自律した学習者を育てる英語教育」

関プロ山梨大会 11月11日(金)

会場：富士吉田市(全体会)
テーマ「国際社会の中で生きる力を育む英語教育をめざして」

英語学芸大会 12月4日(日)

会場：東洋学園大学

＜ 役員紹介 ＞

役 職	氏 名	所 属 校	職 位
会 長	井 田 宗 宏	練馬区立豊玉中学校	校 長
副 会 長	飯 島 光 正	豊島区立千登世橋中学校	校 長
"	牛 島 順 子	目黒区立第四中学校	校 長
"	重 松 靖	国分寺市立第三中学校	校 長
"	阿 字 宏 康	荒川区立第一中学校	校 長
"	石 鍋 浩	足立区立新田学園	校 長
"	醍 醐 路 子	豊島区立駒込中学校	校 長
"	松 岡 敬 明	渋谷区立鉢山中学校	校 長
"	惣 田 修 一	足立区立湊江中学校	校 長
総 務 部 長	飯 島 光 正	豊島区立千登世橋中学校	校 長
経 理 部 長	佐 藤 恭 子	世田谷区立尾山台中学校	校 長
調 査 部 長	重 松 靖	国分寺市立第三中学校	校 長
事 業 部 長	横 山 達 也	多摩市立和田中学校	教 諭
研 究 部 長	北 原 延 晃	港区立赤坂中学校	教 諭
出 版 部 長	石 鍋 浩	足立区立新田学園	校 長
P T 部 長	斉 藤 節 子	豊島区立明豊中学校	副校長
会 計 監 査	大 野 容 義	青梅市立第一中学校	校 長
"	稲 葉 秀 哉	板橋区立赤塚第二中学校	校 長
"	和 田 文 宏	狛江市立狛江第三中学校	副校長

●●●●中英研ホームページ●●●●

中英研の動向、情報、をお知らせいたします。ぜひ、下記URLにアクセスしてください。
「都中英研だより」もいち早くご覧いただけます。

<http://www.chueiken-tokyo.org>

平成23年度中英研コミュニケーションテストの実施について

このことについて下記のように実施いたしますのでお知らせします。
尚、今年度は成績個人票をデータ(CD)で各校へ送りますので、校内でプリントアウトしていただき生徒へ返却して下さい。テスト代金280円を維持するため、ぎりぎりの経費で実施しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

1. 趣 旨：

- 本テストは学習内容を領域別に分け、コミュニケーション能力を測るものとして作成しています。テストの結果は、生徒自身の学習法や教師の指導改善に役立つように工夫しています。
- 中学生が遭遇しそうな場面とタスクを設定し、中学生が遭遇しそうなテキストを使って、vocabulary、grammar、listening、reading、writingの到達度を測定するコミュニケーションが実感できるテストとなるように問題を作成しています。

2. 対象学年：中学2年生・中学3年生

3. 出題範囲：各学年とも9月末までの履修範囲

4. 実施期間：10月上旬から11月初旬（各校で設定した日時で実施）

5. 所要時間：50分（リスニングテスト10分程度を含む）

6. 答案処理：マークシート方式（成績個人票）

7. 申込期間：5月16日(月)から9月16日(金)まで

8. 申込方法：（1）都交換またはFAXまたは郵送で申し込む。下の参加申込書を次の送付先まで送ってください。

〒184-0011	小金井市東町1-5-33
小金井市立東中学校	副校長 刀根 武史 宛
TEL. 042-383-1163	FAX. 042-382-0403

（2）メールで申し込む。次の内容でcommunicative_testing@yahoo.co.jpまでご連絡ください。

<input type="checkbox"/> 学校名	<input type="checkbox"/> 担当教諭	<input type="checkbox"/> 電話番号	<input type="checkbox"/> FAX番号
<input type="checkbox"/> 連絡先メールアドレス			
<input type="checkbox"/> 参加学年（学級数、参加生徒予定数、責任教諭名）			

9. 代 金：一人280円

（内訳・問題作成・答案処理・集計や分析・録音・報告書作成など）

10. そ の 他：・テストの詳細（実施方法、事後処理）、送金方法などは参加校が決定後に参加校に直接ご案内いたします。

・お問い合わせは、調査副部長刀根（042-383-1163）までお願いします。

次号では「明日の授業にすぐに役立つ」実践紹介をお知らせしたいと思っております。ぜひとも、実践紹介を出版部までご紹介ください。

ご連絡先：足立区立新田学園 校長 石 鍋 浩（中英研出版部長）
TEL: 03-3913-6665 FAX: 03-3913-6666